

歩 月 進 日

吉報！！ 令和6年度
岩手県優良県営建設工事受賞！



【農村地域防災減災事業沢内北部地区第9号工事の完成写真】

令和6年度の岩手県優良建設工事表彰に、弊社で施工した「農村地域防災減災事業沢内北部地区第9号工事:現場代理人 百目木洋一」が選ばれました。今回の表彰は弊社に於いては、令和2年度に「一級河川和賀川筋若畑地区河川改修工事:現場代理人 荒津内章」が西和賀町の建設会社で初受賞以来、2度目の受賞という栄誉であります。この表彰制度は昭和57年度から始まり、本年度で第43回目を迎えるものです。岩手県全域で1年間で実施される534件の対象建設工事の中から優良県営建設工事表彰審査会に於いて審査され「総合的に工事成績が良好で他の模範となる県営建設工事」として選ばれたものです。北上管内では弊社と小原建設の2社のみです。このことは弊社にとって大変な名誉なことであり、高い技術力と高い組織力が評価されたものであり、西和賀町は勿論のこと、岩手県内でも有数の建設会社というお墨付きを得たものと思います。現場代理人の百目木洋一君をはじめ工事に携わった社員の皆さんの努力に深く感謝しお祝い申し上げます。

安全第一！秋の現場での注意点

1・安全帯の使用徹底

高所作業では、適切な安全帯(フルハーネス型)の使用を義務付ける。落下防止のために、必ず安全なアンカーに確実に固定する

2・足場の安全管理

作業前に足場を点検し、不備があれば修理や調整を行う。また、足場の設置・解体は専門の資格を持った作業員が行う

3・重機の操作安全対策

重機操作時は、資格保持者のみが操作する。作業区域を明確にし、歩行者や他の作業員が重機の近くに近づかないようにするためのフェンスやバリアを設置する

4・安全教育の徹底

定期的に安全講習を行い、作業員にリスクや対策を教育する。特に新人や未経験者に対しては、現場に入る前に安全指導を徹底する

5・感電防止策

電気設備作業では、電源を確実に切って作業する。また、絶縁工具や防護具を使用し、感電のリスクを最小限に抑える



運転手自身が油圧ショベルの運転台とクローラの間に挟まれ死亡！

災害発生状況

被災者(運転手)は工場解体工事より発生したコンクリート殻を油圧ショベルで移動式破砕機に投入する作業に従事。運転台からいったん降りようとした際、着用していたフルハーネス型安全帯のランヤードを運転室内の操作レバーに引っ掛けてしまい、運転台が右旋回した。被災者は旋回する運転台にランヤードごと引っ張られ、運転台とクローラの間に挟まれ死亡した。

対策

- ・運転席から離れる際は必ずエンジンを停止し、鍵を抜く。
- ・油圧ショベル等建設機械の運転時は、安全帯や腰道具を着用しないよう運転者に周知徹底する。

